



＜発行＞
 南部合唱団
 連絡先 〒214-0022
 川崎市多摩区堰
 1-22-1-416
 TEL : 044-833-6220

しつかりと伝える音楽会にしよう

★帰郷く東北のうたごえCD
 「ロシアのうた」レコーディングコンサート&交流会

団長 大井かつ江

7月2日、3日、岩手県滝沢村で開催された、東北のうたごえ交流会に参加した。私は1日に岩手の実家に泊まり、翌日の午前中に父に頼んで被災地・陸前高田につれて行って

もらった。被災地をこの目で見て、心に刻んでおきたかった。最初に目にしたのは、海水をかぶった5m位の杉の木が茶色に枯れて、後ろの緑との対比。ここまで津波が押し寄

せたのだと想像出来た。津波で流された町は消えて真つ平ら。そこに町があったとは思えない。今はガレキを片づける作業員や工事車両だけ。ところどころに大きなビルの外側と、

片づけた後のガレキの山が出来ていた。父は3月末、5月初旬、そして今回と3度、陸前高田を訪れた。大分片づいたと言った。復興にどれだけの時間がかかるのかと改めて思う。帰りに大船渡の近くに住む叔母の家に寄ったが、近所の人から貰った新物のワカメを、「今年はこれで終わりだよ」と言って持たせてくれた。

父と別れて滝沢村へ。東北の仲間には既にレコーディングコンサートのリハーサルに入っていた。色とりどりのカラーTシャツで舞台に並んだ300名の「ふるさと

の山影」がわつと飛び出す。私はほんのりとした感動を味わった。コンサート後は、八幡平のホテルで大交流会。小さなサークルひとつひとつの発表あり。大うたう会あり。東北の仲間が楽しみにしているのがよくわかる。うたごえ新聞の三輪編集長を囲みながら、福島の子供たちの話を聞いた。とにかく確かな情報が欲しいという。当然である。

に並んだ300名の「ふるさと」の山影」がわつと飛び出す。コンサート後は、

11月2日の南部合唱団の音楽会「自由になるために」は、憲法をしっかりと据えて取り組む。人間らしく豊かな心で、安心して暮らせる。それがどれだけ大事なことか。しっかりと伝える音楽会にしよう。



茶色く立ち枯れた杉の木。ここまで津波が押し寄せた。



津波でながされ、町は瓦礫と化した



300名の「ふるさと影」演奏

南部合唱団音楽会

「自由になるために」

11月2日 (水)